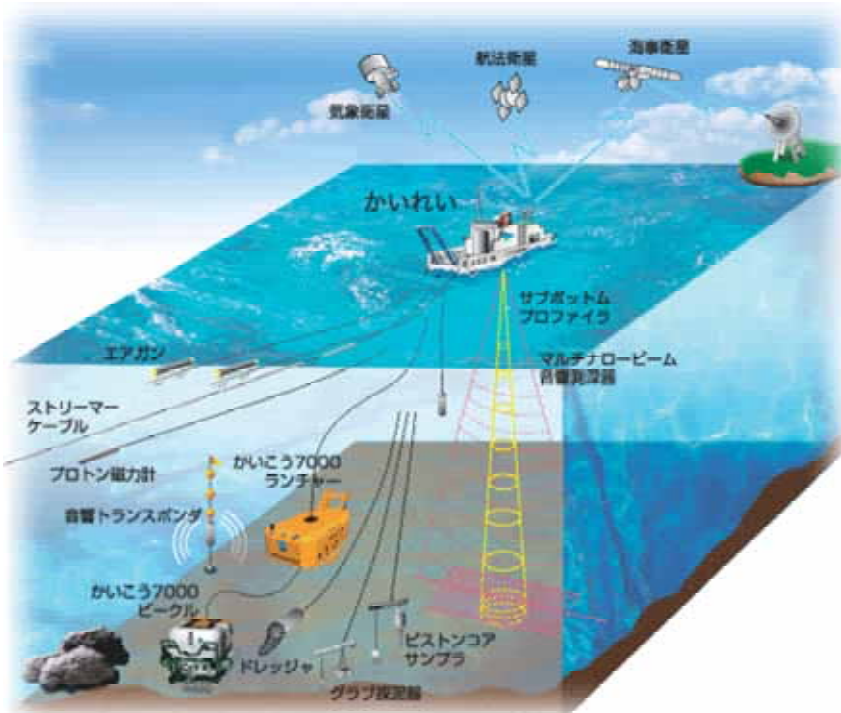
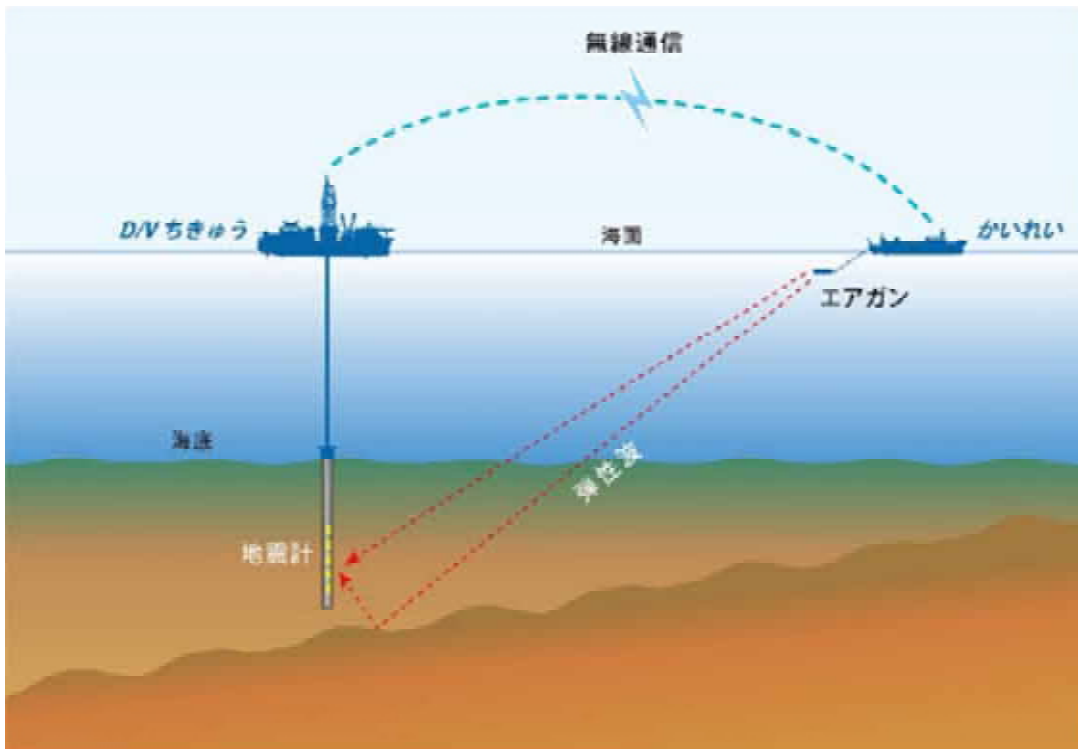


東大地震研究所にある海半球観測センターは、長期間観測データが記録できる海底地震計を開発し、海洋科学技術センターの協力で潜水艇で海底に設置することに成功、さらに海底に孔を開け、孔内に地震計の歪み測定器を設置している。

また地球観測衛星での観測もしており、特に淡路・神戸大震災以後の観測網充実は目を見張るモノがあるが、残念ながら今回の東日本大震災は予知は出来なかった。

今後更に観測網を充実させ、予知能力を高めたいが、課題は多い。



海底でのプレートの直接観測できればプレート境界型地震の観測、予報はよりの確になるはずです。

更にプレートの内部に孔内観測器を打ち込めればより飛躍的な観測データが得られます。